

曾我家住宅土蔵

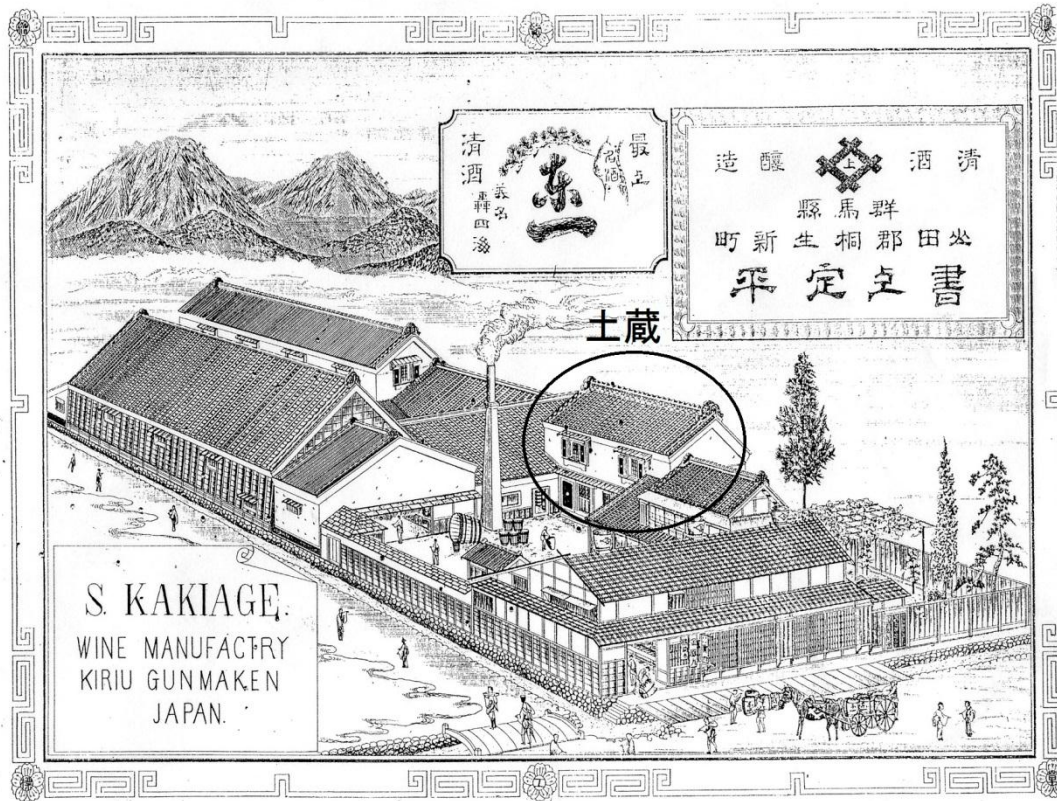
敷地の北側、主屋の西に建つ土蔵造2階建て、規模は桁行6間、梁間2間半である。主屋の西側の座敷を蔵前として、1階を2室、2階は1室とする。屋根は切妻造の棧瓦葺で外壁を白漆喰塗とし、2階南面に2箇所窓を開く。敷地北側は主屋、土蔵、新座敷と連続して防火壁となり、表面は新建材で補修されている。明治22年製の銅版画に既にみられるこの土蔵は酒造業を行った書上家の建設したものである



土蔵北面



土蔵及び新座敷南面



明治 22 年製銅版画（曾我家以前）

この土蔵は酒造業を行った書上家が建設したものであるが、土蔵以外は取り壊されており、全体絵図の状況を経て現在に至る。

曾我家全体絵図

